

令和6（2024）年度生涯学習・社会教育関係職員パワーアップ講座①実施報告

実施日：令和6年8月28日（水）

本研修は、生涯学習・社会教育主管課や公民館、図書館、関連施設等の職員を対象に、社会の要請に応じた生涯学習・社会教育行政を一步ずつ着実に推進するため、各自治体で取り組もうと考える施策を実現・実行するために必要な知識や技術の習得を目指します。

第1回の研修では、施策を分かりやすく説明するための知識と技術として、ポンチ絵の作成方法について、オンラインにて講話と演習を行いました。

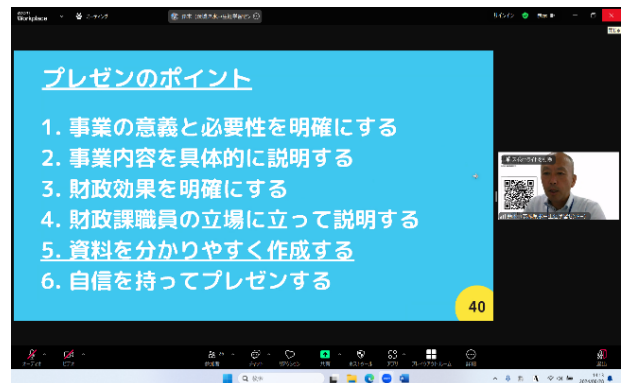
○講話「説得力があり、分かりやすいポンチ絵の作り方について」

茨城県水戸生涯学習センター 次長兼企画振興課長 鈴木 昭博 氏

はじめに、いくつかのポンチ絵を示しながら、ポンチ絵に掲載されている情報やレイアウトは様々であり、目的や対象に応じて掲載内容やレイアウトを考えていく必要があることを話されました。

次に、ポンチ絵が必要な理由とその基本的な形式や特徴、作成するためのツールについての説明がありました。事業実施に要する予算を獲得するためには、事業企画書の作成が必要であることや、ポンチ絵は事業説明をする上で重要であること、さらに、事業を説明する際のプレゼンテーションのポイントについて、分かりやすく話されました。

鈴木氏の「同じ事業でも担当者の熱意によって伝わり方が変わる」の言葉から、受講者の今後の活動に対する意欲を高めることができましたと思います。



○演習「予算獲得につながるポンチ絵をつくろう①～講話から学んだポイントの確認～」

総合教育センター職員

演習の前半では、講話を振り返りながら「新規事業組み立てシート」を使って、ポンチ絵に載せると効果的だと思われる情報について考えました。その後、ブレイクアウトルームにて、その内容項目について検討しました。後半は、グループで話し合ったことをもとに、受講者が担当している事業について、「新規事業組み立てシート」に必要な事項を記入していきました。次回は、さらに演習を進めて総合教育センターにてポンチ絵の作成に取り組みます。

☆受講者の声（アンケートから）

- ・ちょうど新規事業を組み立てていくことになったので、ポンチ絵の作り方だけでなく、事業の計画やプレゼンまで御指導していただき、良い機会になりました。
- ・実際にポンチ絵を自分で利用して何かをするということがなかったので、どのような考え方で作成していくのかを知ることができてよかったです。今後自分が新規事業を立ち上げるときなどに、活用していきたいです。
- ・鈴木先生にお送りいただいた社会教育5月号の記事は、大変参考になりました。他の市町村の事例も、参考になると思うので、今後は、情報収集していきたいと思いました。ポンチ絵については、全体像を考えたり、見てもらったりする上で最初に作るべきものだとわかりました。



研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp